



特定非営利活動法人

防災士会 みやぎ

MIYAGI BOUSAISI ORGANIZATION

定時総会開催のお知らせ

- 開催日時：平成30年6月17日(日) 13:00~
- 開催場所：みやぎNPOプラザ 第1会議室

Vol.12
2018.5

- 地区防災計画推進に向けて
- 各事業部からの取組について
- みやぎ防災・減災円卓会議総会報告
- 防災士会みやぎ・主な活動報告
- 会員の交流
- 日本防災士会関連事業報告
 - ・ 日本防災士会女性防災推進局スキルアップ研集会
 - ・ 日本防災士会スキルアップ研修会in仙台
- 豆知識 [地震警報が変わった! ご存じでしたか?]
- 入退会者のお知らせ



防災士会のマスコット
サイは「森の消防士」と
言われている動物です。

平成30年3月11日大崎市長岡地区での防災講話



大河原町議会議員研修会(防災研修会)

- ◆平成30年1月29日(月)大河原町議会議員研修会があり、防災講話を行いました。町役場の大会議室には町議員、町民、仙南、亘理2市8町の町議会議員の方々も参加され、会場に入りきれない状況でした。
- ◆依頼された内容は、「地域を取り巻く防災・減災の取り組みについて」①自然災害への心構え、②地域住民の災害時の的確な対応についてでした。市の中心部を1級河川白石川が流れ、「一目千本桜」として有名な風光明媚な町です。
- ◆県内各地で防災訓練や防災講話などを依頼されてきましたが、議会議員のみなさまを対象としたものは初めてです。これまで大きな災害がなかった地域であります。参加者からの質問の多さにも地域リーダーである議員のみなさまの防災に対する関心の高さに大変驚きました。
自主防災組織や町内会、婦人防火クラブなどの取り組みがほとんどですが、このように議員のみなさまが率先して取り組まれることは大変すばらしいことで他の地域にも働きかけていきたいと思えます。



仙台市防災シンポジウム 第13回 災害に強いコミュニティのためのフォーラムに後援・展示参加

- ◆平成30年3月15日(木)仙台市若林区文化センターで開催され、今年も後援と展示参加をいたしました。大会は毎年、仙台市各区を持ち回りして開催されており、「高めよう!地域防災力」の言葉のもと、基調講演、救護の達人コンテスト、ワンポイント防災セミナーそして地域防災活動のポスター等の展示が行われました。
- ◆当会の会員の皆さんも「仙台市地域防災リーダー」として大勢の方が参加され、当会の展示ブースにも顔を出していただきました。
- ◆基調講演は、「長町・利府線断層帯から発生する直下型地震について」と題して、東北大学災害科学国際研究所教授の遠田晋次氏がお話をされました。宮城県の防災士として、「長町・利府断層」についてその被害想定など頭に入れておく必要があります。



防災気象講演会in大崎に展示参加

平成30年3月14日(水)大崎生涯学習センター(パレットおおさき)を会場に仙台管区气象台、宮城県、大崎市主催の防災気象講演会「大雨災害から身を守るために～防災気象情報の活用と自主防災組織による地域防災活動～」をテーマに開催されました。当会は毎年後援を行い展示参加を行っています。
基調講演は「宮城県における大雨防災」と題して仙台管区气象台気象防災情報調整官の小池次郎様、「学校・公民館が一体となった防災教室の取組」と題して大崎市古川清滝地区公民館生涯学習推進員の佐々木真由美様がお話をされました。司会は、テレビでお馴染みの気象予報士竹下愛実様でした。
展示コーナーには、当会の他、宮城県や仙台管区气象台、日本赤十字社などが展示を行い、参加した方々に情報提供を行いました。



東北復興アマチュア無線フェスティバルに合同参加

平成30年3月11日(日)仙台国際センター展示棟で開催された、「東北復興アマチュア無線フェスティバル」に福島、山形県防災士会と合同で参加しました。また、同会場には青森県防災士会も参加しており、その積極的な活動に驚きました。災害時のアマチュア無線の評価は高く、会場となった仙台国際センター内は、身動きが取れないほどの参加者で関心の高さを身をもって知りました。アマチュア無線の免許は、仙台市内で随時講習会を開催しているとのこと。興味のある方は受けてみてはいかがでしょうか!



大崎市古川長岡地区自主防災組織訓練に講師派遣

平成30年3月11日(日)東日本大震災から7年目の日に、大崎市古川長岡地区にてミサイル発射時の行動・自主防災組織の概要と役割・その現状と問題点について講話致しました。
総勢100名近い住民の方々が参集し、その地域の災害リスク(特に水害対策・地震対策)の説明を通して課題を見つけて今後の訓練に活かして頂きたいと話しました。





◆各プロジェクトで活躍されているみなさんからイベントに参加しての感想や講演するにあたって心掛けていること、困ったこと、やって良かったことなどを自己紹介を交えて書いて頂きます。

➤ スキルアップ研修会を開催

平成30年3月3日(土)午後3時から、みやぎNPOプラザ第1会議室において「話すこと、伝えること」と題してスキルアップ講座が開催されました。
当会 副理事長 児玉俊幸氏、当会会員 阿部清人氏他、Date FMアナウンサー板橋恵子氏を迎え、短期事業の取り組みや講師デビュー指南、伝える時の注意すべきポイント、東日本大震災前後の取り組み等についてお話いただきました。
その後の懇親会にも多数の会員が参加、同じ志を持つ会員同士、おおいに語り合う場となりました。



第1部 板橋恵子さん



第2部 児玉副理事長



第3部 阿部清人さん



会員と記念撮影

➤ 古川長岡針部落会防災講話派遣

◆ 平成30年3月18日(日)
世界農業遺産に認定となった大崎耕土の中心に位置する大崎市古川長岡針地区での防災講話を実施しました。
依頼内容は①弾道ミサイル発射時の行動について②自主防災組織の役割について③大崎市内の自主防災訓練の事例について④当該地区の地盤についてと地震の影響についてでした。
事前に現地の会長に電話をして、現在抱えている自主防災組織の問題点や課題をお伺いしました。当日その課題を講話を通して住民の方々と一緒になって解決するのも、防災士の重要な役割かと感じる派遣でした。



自主防災組織の役割を説明



長岡針の役員の方々と住民の皆さん



地盤と地震の影響について説明する阿部防災士



仙台市若林区 木立 芳行 防災士

◎気象台に勤務する傍ら当会でも講師等で参加されています。



防災は自然(気象・地象)災害のみではなく、環境(地球温暖化、大気汚染)問題など、最近ではミサイル対策の必要性も問われ、多岐多様に渡るものと今更ながら感じております。防災・減災は行動することから、それには確かな知識を身につけること。そして何よりも地域のコミュニケーションが大切！ まだまだ修行中の身ですが、普及啓発にひと役買えれば幸いに存じます。皆様、今後ともよろしく願いいたします。



仙台市太白区 繁野 みど里 防災士

◎各方面で精力的にボランティア活動を行うインフルエンサー 当会理事です。

大震災後、防災士の資格を取得。この時学んだことが基礎知識となり、その後の活動に大いに役立っています。自分だけでなく、他者も一緒に助かるために何をなすべきか、女性の目線で考え発信するように努力しています。児童館主催のママとこどもの防災教室でのサバ飯やリョンの読み聞かせなどで活動をしています。今年は地区SBL代表として地域合同防災訓練を企画立案し、現在進行形です。
仙台市生涯学習支援センターでの市民プロデュース講座「防災・減災講座」も仲間たちと企画しています。9月22日から始まります。皆様どうぞ受講してください。 当会理事 女性防災推進部長



栗原市一迫 門傳 久士 防災士

◎郵便局に勤務する傍ら地域の防災活動に積極的に参加していただいています。



陸前長崎郵便局の門傳と申します。昨年、古川・敷玉地区の防災研修会に補助者として参加させていただきました。補助者の仕事は研修時の写真撮影が主でしたが、視聴する参加者皆様の防災に対する関心度が伝わってきて大変貴重な体験をさせていただきました。私の地元にも自主防災組織が結成されており、現在は事務局を担当しております。毎年行う防災訓練は何にしようか悩むところはありませんが、防災士としての智恵を活かして地域の方々に情報提供を行い、減災に努めていきたいと思っております。



➤ 日本防災士会女性防災推進局 スキルアップ研修会開催される

3月17日(土)13:30から東北大学災害科学国際研究所で開催されました。全国から40名を超える防災士が参加、講師は当会の会員でもある東北大学の保田真理さんが務め、テーマは「わかりやすく伝える～女性の防災力を生かす活動～」と題して開催されました。当会からも大勢の会員が参加しスタンプラリーなどグループにわかれて体験しました。防災士会みやぎは会場の準備・受付などの支援を行いました。



➤ 日本防災士会 スキルアップ研修会 in 仙台

2月25日(日)13:30から仙台駅前の「仙都会館」で開催されました。テーマは気象災害集中講座で「災害をもたらす気象現象 雨」と題して元気象相談所の矢野良明さんが講師を務められました。40名を超える会員が東北のみならず岐阜県や埼玉県などからも参加されました。

空気の重さを測る実験もあり大変勉強になる内容でした。防災士会みやぎは、会場の準備・受付などの支援を行いました。



豆知識

本年3月22日から**緊急地震速報(警報)**に『**続報**』が発出されることになりました。これは東日本大震災で震源地から離れた関東でも大きな被害がでた教訓から導入とのこと。

入退会者のお知らせ

- ◆ 会報第11号発行以降の入退会者は以下の方々です。
- ◆ 平成30年5月1日現在の会員数 ○ 正会員 111名 ○ 賛助会員 2団体

□ 入会者 《 2名 》

- H30. 4 佐藤 大さん 仙台市太白区
- H30. 4 三瓶 湊敏さん 大崎市鳴子

□ 退会者《 3名 》

- H30. 2 佐々木 博さん
- H30. 3 糟川 建朗さん、今野 芳亮さん

※前号掲載の千坂 裕春さんの住所に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。 青葉区 → 大和町

発行 特定非営利活動法人 防災士会みやぎ

■ 発行者 理事長 菊地 正衡 ■ 広報担当 理事 若生 彩・理事 繁野 みど里



連絡先 080-1821-0335
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPO プラザ内 No.22



情報・ご意見はメールでお願いします。 jimukyoku@bousaishi-miyagi.org